

# 行政視察レポート

---

令和8年5月19日(火)  
産業建設委員会

# 今回の視察先 島根県邑智郡川本町

■日時 令和8年5月19日（火）13:30～15:00

■場所 川本町役場 大会議室

■視察の目的

- ・産業建設委員所管課題である「中山間地域の再生」について川本町での取り組みを学び意見交換を行う。

■意見交換相手

- ・まちづくり推進課 伊藤課長 ・総務財政課 竹下課長補佐
- ・一般社団法人かわもと暮らし 森川理事長、浪崎事務局長

■派遣委員

- ・村木 勝也、西田 一平、笹田 卓、川上 幾雄、大谷 学、小川 稔宏、今田 実延



# 島根県邑智郡川本町

## 人口減少対策への取り組み

---

### **[視察先の概要]**

- ・ 人口は2,942人（令和7年9月30日時点）、面積は106.39km<sup>2</sup>。
- ・ 島根県のほぼ中央に位置し、総面積の約81.6%を山林が占める。
- ・ 平成の合併を選択せず、「川本町(まち)」と呼称する町。昭和2年4月1日から「まち」と呼称するようになって、100周年を迎える。
- ・ 中国地方随一の大河「江の川」の水運による恵みにより、「石見銀山」、「たたら製鉄」などの山陽側に向けた玄関口として、発展してきた。
- ・ 近年では、健康食品であるえごまの産地として、全国での知名度向上。
- ・ スポーツ振興にも力を入れ、女子野球の普及による地域活性化を目指す。

# 島根県邑智郡川本町

## ○一般社団法人 かわもと暮らし

---

### ① 設立の背景

・全国的に人口減少が進む中、川本町においては令和32(2050)年に人口が半減するとの推計もある。平成27(2015)年の「川本町総合戦略」策定と同時に発足した任意団体(後に一般社団法人化)

「かわもと暮らし」が、移住定住、観光(交流人口)、関係人口、挑戦人口の4分野を一貫して担当。行政では対応しきれない機動的な活動(イベント企画、きめ細かい相談対応、野球チーム運営など)を最前線で実施。

# 島根県邑智郡川本町

## ○一般社団法人 かわもと暮らし

---

### ② 事業全体像(人口4本柱)

#### 1. 移住人口

相談から定住までワンストップ対応。

#### 2. 関係人口

多様な関わり代と継続的な接点作り。

#### 3. 交流人口

地域資源を活用した観光・イベント実装。

#### 4. 挑戦人口

地域の活力を生む新たな挑戦機会の創出。

# 島根県邑智郡川本町

## ○一般社団法人 かわもと暮らし

### ③ 移住・定住人口事業

- ・ 情報発信・移住相談

HP・SNS、都市部での情報発信。オンライン/対面で柔軟に対応。

- ・ 移住体験(オーダーメイド)

日帰り～2泊3日、参加費・宿泊料無料。

従来の画一的なツアーから、子育て世代、セカンドライフ層などニーズに合わせた「オーダーメイド体験ツアー」へ転換。

- ・ 定住サポート

移住後のコミュニティ接続や生活インフラの立ち上げを伴奏支援。



# 島根県邑智郡川本町

## ○一般社団法人 かわもと暮らし

### ④ 住まい:空き家バンク

- ・登録促進と物件データの整備  
お盆などの帰省時に相談会を開催し、認知度向上を図る。  
情報誌を固定資産通知へ同封など、情報周知を強化。
- ・情報発信・現地案内・契約支援 ※本契約は不動産業者が対応
- ・家財撤去・改修補助金の情報提供と伴走
- ・空き家の清掃・簡易的な管理代行  
所有者の高齢化や遠方などの理由で管理できない物件に対し  
月額2,000円での清掃・管理代行サービスを開始。

# 島根県邑智郡川本町

## ○一般社団法人 かわもと暮らし

---

### ⑤ 関係人口の創出

- ・ 島根中央高校卒業生との繋がり設計・運用  
島根マルシェ等の開催。
- ・ 県外の出身者会との共同プログラム
- ・ 関係人口対象者に向けた情報発信

# 島根県邑智郡川本町

## ○一般社団法人 かわもと暮らし

---

### ⑥ 交流人口の創出

- ・ 情報発信・PR

HP/SNS/観光パンフレットによる魅力発信。

SNS総フォロワー数：約**4,000**人超。

- ・ イベント実装と広域連携

賑わいイベントの企画・運営。

(ルールバイク、雲海イベントなど)

近隣市町との連携による広域誘客。

- ・ ガイド・体験造成

ルールバイクや町歩きガイドの実践。地域資源を活かした体験プログラム開発。

# 島根県邑智郡川本町

## ○一般社団法人 かわもと暮らし

### ⑦ 挑戦人口 島根フィルティーズ運営

- ・運営・PR

女子硬式野球クラブ「島根フィルティーズ」の運営全般と野球を通じた町の魅力発信。

- ・地域活動・教育連携

地域イベントの参加や学校等と連携したスポーツ体験・運動指導などの地域貢献。

- ・セカンドキャリア支援

選手の定着に向けたキャリア研修やビジネス・ITスキル習得の機会を提供。

Shimane PHILLYS. 社会人女子硬式野球クラブ 島根フィルティーズ

# 挑戦から、飛躍へ。

～高橋の二年目～

令和5年度試合スケジュール

日	対戦相手	会場
4月26日(日)	vs 2024年度新人戦	日本野球場
5月20日(土)	vs 高松実業高等学校	サンズオーシャン(野洲)野球場(高松市)
5月24日(土)	vs 西尾高等学校	日本野球場
5月24日(日)	vs 岡山大学女子硬式野球部	岡山大学野球場(岡山市)
5月28日(日)	vs 岡山実業女子硬式野球部	岡山実業女子硬式野球部野球場(岡山市)
7月 4日(土)	vs 島根県硬式野球連盟	日本野球場
8月 12日(日)	vs 高松実業高等学校	日本野球場
8月30日(日)	vs 島根県硬式野球連盟	日本野球場
9月 6日(日)	vs 山形県硬式野球連盟	山形県硬式野球連盟野球場(山形市)
9月19日(土)	vs 高松実業高等学校	高松実業高等学校野球場(高松市)
10月 3日(土)	vs 島根県硬式野球連盟	日本野球場

令和5年度選手権大会

日	会場
8月2日(土)	マドンナスタジアム(松山)
8月9日(土)	日本野球場
8月16日(土)	日本野球場
8月23日(土)	日本野球場
8月30日(土)	日本野球場
9月6日(土)	日本野球場
9月13日(土)	日本野球場
9月20日(土)	日本野球場
9月27日(土)	日本野球場
10月4日(土)	日本野球場
10月11日(土)	日本野球場
10月18日(土)	日本野球場
10月25日(土)	日本野球場
11月1日(土)	日本野球場
11月8日(土)	日本野球場
11月15日(土)	日本野球場
11月22日(土)	日本野球場
11月29日(土)	日本野球場

一般社団法人かわもと暮らし 島根フィルティーズ球団事務所  
〒690-0004 島根県川本町1-1-1 TEL: 0856-74-0100 FAX: 0856-74-2101 E-mail: phillys@kwm.com

# 島根県邑智郡川本町

## 事前質問の回答

---

### 人口減少対策の全体戦略

Q 1. 川本町として、人口減少の主要因の分析をされていますか？

A. 毎年の人口動態をもとに、町内及び関係機関と情報共有・分析を行っています。

Q 2. 若年層流出の最大要因は「通年雇用の不足」とありましたが、他にも要因がありますか？

A. 高校卒業後の進学先が町内にないことが大きな要因の一つです。

Q 3. R 5～R 7で施策が増えていますが、効果が高いと思われるのはどの施策でしょうか？

A. 移住施策自体を大きく増やしているわけではなく、既存施策のブラッシュアップを継続しています。

Q 4. K P I はどのように測定されていますか？

A. 主に社会増減を指標の一つとして把握しています。

Q 5. K P I の未達の場合の改善サイクルは？

A. 毎年度実施する総合計画に基づく事務事業評価と、翌年度の当初予算編成を通じて検証・改善を行っています。

# 島根県邑智郡川本町

## 事前質問の回答

---

### 空き家対策(1/2)

Q 1. 宅建業者の撤退について

A. 令和6年度に宅建業者の撤退はありません。令和7年度から複数社体制へ移行。

Q 2. 登録不可物件の割合

A. 令和7年度実績では、調査24件中3件(約1割)です。

Q 3. 登録から成約までの平均期間

A. 物件の状態や条件による差が大きいため、平均期間は算定していません。

Q 4. 登録数減少について

A. 本町の年間登録件数は平均10～15件程度で、年ごとの差はあるものの減少とは捉えていません。

Q 5. 成約率の推移

A. 個別条件による影響が大きいため、一律の推移として整理していません。

Q 6. 成約に至らない主な理由

A. 老朽化が主な原因です。

# 島根県邑智郡川本町

## 事前質問の回答

---

### 空き家対策(2/2)

Q 7. 賃貸需要量の把握

A. 具体的な需要量は把握していませんが、賃貸希望の相談は多い傾向があります。

Q 8. 活用事業者向けの補助について

A. 本町では創設していません。

Q 9. 民間事業者参入促進策

A. 制度や物件情報の周知強化を進めています。

Q 10. 空き家増加の要因

A. 一般的な要因として、一人暮らしの高齢者の逝去、子世帯との同居に伴う転居、町外移住者による相続後の未活用などが挙げられます。

Q 11. 発生抑制策

A. 空き家バンク登録相談会の開催、広報誌・ケーブルテレビ等による定期的な周知を行っています。

# 島根県邑智郡川本町

## 事前質問の回答

---

### 移住対策(1/2)

Q 1. 最も閲覧されているページ

A. アクセス全体では空き家バンクが60%、民間アパート情報が20%を占めています。

Q 2. SNS連携の効果

A. 問い合わせ増加など一定的な効果があると認識しています。

Q 3. R6体験ツアーからの移住実績

A. 26名参加のうち4名が移住に至っています。

Q 4. オーダーメイド方式について

A. 参加者ニーズに応じた内容とすることで、満足度向上につながっています。

Q 5. 利用者移住率

A. 令和5年度：1件/10件 令和6年度：2件/11件

# 島根県邑智郡川本町

## 事前質問の回答

---

### 移住対策(2/2)

Q 6. 多い相談内容

A. 子育て世帯：保育所関係、小児科等医療体制 単身者：住まい(空き家)  
地域おこし協力隊：仕事内容、人との関わり

Q 7. 住宅追加確保

A. 令和9年度に移住促進住宅の整備を予定しています。

### 雇用・産業

Q 1. 受け入れ企業数と拡大目標

A. 平成30年度に誘致企業「島根川本工場」が進出しました。  
今後はサテライトオフィス等も含め1～7社を目標に取り組んでいます。

Q 2. 若者定着率の測定

A. 現時点で明確な測定基準は設定していません。

# 島根県邑智郡川本町

## 委員会の考察

---

- ・浜田市においても一般社団法人「かわもと暮らし」のような団体を設立し、行政では対応しきれない機動的な活動、きめ細かな対応の実施が中山間地域の再生につながると考える。
- ・空き家対策についても、川本町が実施しているオーダーメイド対応のように、画一的な提案から脱却し、希望者の年齢や立場、家族構成などに合わせ、希望者のニーズに寄り添う提案が移住へと結びつく。
- ・全国初となる社会人女子野球チームの創設を通じ、挑戦人口を創出・支援することで、移住定住人口の増加に結びつける。野球を辞めたとしても、川本町に残ってくれるよう、雇用先の確保やキャリア形成支援が重要となる。